

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成17年10月20日

No.1538

超私の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第2690地区ガバナー 延 原 正

△ 島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
▽ A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会 長 大谷 幸 副会長 加藤喜久
幹 事 内田節夫 会 計 加藤 昇

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1538回	米山奨学生 張 燕様	
第1539回	職業奉仕委員会	優良者表彰
第1540回	加藤 喜久会員	マッチング・グラント事業報告会

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
50	43	7	86.00	80.00

欠 席 者 大島治・原光・飯塚佳・石原恵・園山・石橋・原田

M U 10/17山根・原光（出雲中央）

10/19飯塚佳・吾郷・原田・持田・大島卓（大社）・石原恵（松江）

幹事報告

1. マッチング・グラント事業の負担金、会員一人3,000円、今月分諸経費で引き落としさせていただきます。

ス マ イ ル

大谷 無事、坪田愛華ちゃんの“地球の秘密”の本をとどけて参りました。

張 燕さんのスピーチを楽しみにしています。

恒松 出雲、モンゴル環境交流団が無事に帰りました。会員の皆様にはこれから寄付でお世話になりますが、よろしく願いいたします。

大島卓 モンゴル親善ご一行さま、ご苦労様でした。米山奨学生、張 燕さんスピーチありがとう。

飯塚大 モンゴルお疲れ様でした。早朝の座禅会、ご参加ありがとうございました。万田の郷でもお世話になりました。張 燕さんSpeechよろしく願いいたします。

原孝 10月17日より5日間、山陰中央新報にて、平田本因坊戦の自戦記を掲載しています。

11月10日例会受付当番

大 島 治 ・ 平 野 順 一 ・ 飯 塚 佳 久

★松江南クラブ（月）

★出雲中央クラブ（月）10/31

★松江しんじ湖（火）

★出雲クラブ（火）

★松江クラブ（水）

★大社クラブ（水）

★平田RAC（第1・3水）

★松江東クラブ（木）

★出雲南クラブ（金）10/28

会長挨拶

平田RCは“21世紀は環境問題の世紀”であると認識し、マッチンググラントにより、坪田愛華ちゃんの“地球の秘密”1万冊をモンゴルの子供達に贈る事業を計画し、これに出雲市の市長、議長、JAいずも組合長をはじめ一般市民の人々の参加も得て58名の交流団を結成、行ってきました。

詳細については後日、改めて報告することにし、時間の都合上、平田RCに係る事項の概要をのべます。

1. “地球の秘密”1万冊の贈呈式は子供会館で約500名の子供とその親の前で行い、RC会員全員で本を子供に手渡し交流しました。
2. 環境保護、子供の教育のための基金1万ドルはモンゴル大統領夫人管理の基金へ相互に覚書を交わり贈呈しました。
3. 小池百合子環境大臣より平田RCに託されたモンゴル国首相あての“環境メッセージ”は環境省を訪れ環境大臣に手渡しました。
4. 文部省、食・農林省を訪ね、各大臣と会談。
5. ウランバートル市庁舎に同市最高議会議長を訪ね会談、同議長よりこの事業について感謝状を受ける。
6. マッチング・グラントの相手方のフレールC、その当初のサイン者ツメンバイヤー氏に会う。パーナーを渡す。
7. 本の贈呈式は現地TVや新聞に報じられていました。

スピーチ

自己紹介

米山奨学生 張 燕 様



今年4月からロータリー米山奨学生にならせて頂きました張燕と申します。平田ロータリークラブの皆様には大変お世話になり、心より感謝しております。

【出身】出身は中国河北省の県庁所在地石家庄です。総面積は15,848平方キロ、人口約100万人です。石家庄は中国でも著名な商品集散地で、全国十大商業市場のうち、南三条商業市場と新華商業市場があります。また、著名な薬都でもあり、石家庄の製薬工業は上海市に次ぐ規模となっています。

【大学】1999年河北医科大学卒業。河北医科大学は1915年に創立、学生総数は約13,000人。河北省では規模が一番大きな医学系総合大学で、同省の医学教育、

医療センター、医学研究の中心です。附属病院も6施設有します。

【家族】私は医学の世家に生まれ、父は肝臓外科医、母は小児科医です。私は皮膚科医をしており、主人は腎臓内科医です。子供は男の子が一人います。先月1歳になりました。

【留学】島根大学医学部の大学院で勉強しており、来年3月卒業予定です。私の専攻は皮膚科学で、指導教官は森田栄伸教授です。研究室には教育と研究の熱気があり、先生方は夜遅くまで研究に励んでいます。日本人の真剣な取り組みに感心しています。また、先進的な施設設備、技術の高さ、研究者へのサービスが優れていることにも感心しました。私の研究内容は2つがあり、サイトカインとアトピー性皮膚炎の病態の関連及び食物アレルギー抗原の解析です。ファーストオーサーとして5つ学術論文を書く事が出来ました。

【将来】来年卒業後、母国に帰り医師として河北省第四付属病院で仕事する予定です。日本で学んだ事を生かして患者の治療や後輩の指導にあたりたいと思います。その上、感じた日本人の優しい心や日本の皆様とのたくさんの素晴らしい体験を忘れずに、日本と中国の友好、親善に自分の力も捧げたいです。

ロータリー米山奨学生となり、研究に専念する事ができ、充実した生活を送らせて頂いております。毎月の平田クラブの例会にも参加させて頂き、平田クラブの皆様と交流を深める事ができ大変嬉しく思います。そして、子供の成長を見守りながら、夫婦ともに研究を続ける事が出来、とても幸せに思います。ロータリー米山奨学金を頂きました事を、心から感謝申し上げます。